

2023年度 卒業式・学位記授与式

5年ぶり一堂に会して実施

2023年度の卒業式・学位記授与式が3月22日、東京都千代田区の日本武道館で行われた。一部制で卒業生・修了生が一堂に会する卒業式は5年ぶりの開催となった。

学部卒業生は3904人、大学院修了生81人、法科大学院修了生14人。



5年ぶりに卒業生・修了生が一堂に会して行われた卒業式・学位記授与式

ニュース専修

専修大学 ホームページ
<https://www.senshu-u.ac.jp/>

毎月1回15日発行
 発行所
 専修大学広報課
 〒101-8425
 東京都千代田区
 神田神保町3-8
 ☎03-3265-5819(直)

それぞれの道を 希望の明日へ

主なニュース

- 川島記念賞受賞者／大学院・法科大学院総代……………③
- 学内外で活躍 羽ばたく4年次生……………④
- 定年退職 教授11人教壇に別れ……………⑤
- ネット情報「市民ミーティング」で発表……………⑥
- 石巻専修大学 学位記授与式／「石巻で学ぶ」開催……………⑦

式では佐々木重人学長が学部と大学院の総代に学位記を授与。優れた成績を取った川島記念賞では70人が表彰された。

学部卒業生のほとんどは新型コロナウイルス感染症が感染拡大した2020年に入学し、活動制限の中、学生生活を送った。佐々木学長は式辞で「コロナ禍の3年間を今後の人生にいかに関わりつけるか自問自答してほしい。失われた3年間ではなく、復元力(レジリエンス)を鍛えた時間と捉えてほしい」と語りかけた。

祝辞で松本健一理事長は「良き人生を自らで勝ち取る信念を持って」、日高義博総長は「自らの立ち位置を見定め、社会のために大きく羽ばたいていくことを切に願う」と激励した。

卒業生・修了生を代表して佐藤葉菜さん(国コミュ)が謝辞を述べた。コロナ禍の中で始まった大学生活を「当たり前だと思っていた日常を考え直す機会が得られた」と振り返った。新設の国際コミュニケーション学部で、自ら課題の解決を目指す研究の楽しさと



同窓生を前に活躍を誓う野々村さん(左)と西館さん

大切さを学んだ佐藤さん。これからはそれぞれの道を進むが、進む先はこれまでの道の延長にある。先の見えない不安も楽しみながら明日への一歩を踏み出したい」と力強く述べた。

また、川島記念体育賞総代でスピードスケート男子1000が日本記録保持者の野々村太陽さん(経営・スピードスケート部)と、同賞受賞でプロ野球・東京ヤクルトスワローズにドラフト1位で入団した西館昂汰さん(経済野球部)がステージに上がり、今後の活躍を誓った。式では専大フィルハーモニー管弦楽団の演奏にあわせ混声合唱団カップコーラス部が校歌を斉唱した。

学位記の交付は学科ごとに分かれて神田キャンパスで行われた。学びの集大成である学位記を受け取った卒業生・修了生は晴れやかな笑顔で、恩師や同級生と思いを語り合っていた。

本学では2019年度は神田・生田両キャンパスで学位記を授与。20年度から22年度は日本武道館で二部制で卒業式・学位記授与式を実施した。

総代謝辞で「自分と向き合うほど気づきが増え、成長の糧になった」と述べた佐藤さん

(2面に式辞・祝辞要旨)

写真特集 3.22 卒業式・学位記授与式

